



各高の開拓者たち ～活躍する各高卒業生～

第02号 平成30年 5月15日(火)



★★平成25年度卒業生 立岩武尊さん

(名古屋コミュニケーションアート専門学校卒)です。★★

平成25年度に卒業した立岩武尊です。卒業後は名古屋コミュニケーションアート専門学校に進学し、現在は茨城県にあるアクアワールド茨城県大洗水族館で勤務しています。水族館という少々癖のある職種であるため皆さんの参考になるか心配ですが、仕事のことや、学生の頃についてお話ししたいと思います。

水族館の仕事とは

皆さんは水族館の仕事と聞いて何が思い浮かびますか？おそらく多くの方が最初に思い浮かぶのはイルカショーだと思います。もちろん間違いではありませんがそれ以外にも水族館にはたくさんの仕事があります。大洗水族館には魚の飼育を担当する魚類展示課、イルカやアシカなどの海獣の飼育を担当する海獣展示課、広報やイベントを担当する経営企画課、主に解説を行う普及課などたくさんのチームがあります。



サメの飼育種数は日本一。なかでもシロワニは大迫力!!

私は魚類展示課、海獣展示課を経験し、現在は経営企画課で勤務しています。今回は魚類展示課、海獣展示課(イルカチーム)の飼育員の仕事を簡単に紹介します。

飼育員の朝は早いです。出勤したらまずは生き物たちに与えるエサを用意します。アジやサバなどを切り分けたりするのですが、その量は魚類、海獣展示課それぞれ100キロ以上あるためとても大変です。エ

サの準備ができれば各水槽の見回りや、

生き物たちの健康チェックをします。日中は魚類展示課であれば生き物たちにエサを与えたり、水槽の掃除、生き物の採集などがありその合間に解説やショーがあります。海獣展示課(イルカチーム)もショー以外の時間はイルカのトレーニングや掃除など、ここには書ききれないほどたくさんの仕事があるため、皆さんの見ているショー以外の仕事のほうが圧倒的に多いですし、かなり忙しいです。お客様の見ていないところでの仕事が多いのでなかなか地味な仕事内容にはなりますが、そこで頑張った分だけお客様には喜んでいただけるのでかなりやりがいのある仕事ではあります。

専門学校では



水中からこうした写真が撮れるのは飼育員だからこそです。

高校卒業後は名古屋コミュニケーションアート専門学校の水族館・アクアリスト専攻に進学しました。授業の内容としては、多くが生き物に関わる内容でした。また、実際に水族館に行き勉強させていただく実習というものもあり、水族館でどのような仕事が行われているのかを直接学ぶこともできました。大学とは違い、2年間と在学期間が短い

ため忙しかったのですが充実した2年間でした。水族館の飼育員はなりたいたと思った人が全員になれる仕事ではありません。最終的に就職できるか、できないかは本人のやる気と努力次第ということを感じた2年間でもありました。

高校では

高校生のときは普通科で勉強していました。2年生からは理系のコースに進みましたが、テストの順位は下から数えればすぐに見つけられるほどでした。(一部の科目は除く)

部活はラグビー部に所属していました。かなりハードな部活でしたが、それだけに得るものもとても多く、今でもラグビー部で良かったと心から思っています。ラグビー部での3年間がなければ、水族館には就職できていなかったと思えるほど価値のある3年間でした。



イルカ・アシカオーシャンライブは人気プログラム

学生のみなさんへ

各務原高校で勉学に励む皆さん。皆さんには今、夢はありますか？明確な夢がある人はなかなかいないと思いますが、夢を持ちましょう。きっとその夢が自分を動かす原動力になるはずです。そして、もうすでに夢がある人、その夢への道のりは決して楽な道のりではないでしょう。その道を突き進むもよし、立ち止まるもよし、別の道へ歩みだすもよし、だと私は思います。ですが、その選択を後悔しないようにしましょう。人生は後戻りすることができません。だからこそ毎日を全力で楽しく過ごしましょう。